

The Record 2020

vol.728

*July 7
& August 8*



The Record 2020.7-8 vol.728

令和1年度事業報告 |

「知的財産推進計画2020」が決定 |

7・8

July/August
2020

CONTENTS

1 Monthly News Digest

特集

3 令和1年度事業報告

特報

7 「知的財産推進計画2020」が決定

8 Data File

9 Monthly Production Report

10 Certification

Monthly
News
Digest

6/26 Friday

定時総会・第533回理事会
開催 重村会長再任

6月26日、当協会は東京都千代田区の東京會館LEVEL21において、定時総会および第533回理事会を開催した。定時総会では、令和1年度の事業報告および決算報告の審議承認の後、役員の選任が行われ、理事・監事ともに候補者全員が承認を得て選任された（事業報告書の詳細は、3～6ページの特集「令和1年度事業報告」に掲載）。なお、理事の高木司氏は新任となる。役員の任期は2022年の定時総会までの2年間となる。

引き続き開催した第533回理事会では、重村博文キングレコード株式会社特別顧問が会長に再任され、あわせて副会長の選任においては林真司氏、藤倉尚氏、村松俊亮氏、吉村隆氏が再任となった。会長、副会長、顧問の任期は2021年の定時総会までの1年間。

当協会役員人事（6月26日付）

■再任・新任

【会長】

重村 博文
キングレコード株式会社
特別顧問

【副会長】

林 真司
エイベックス株式会社
代表取締役CFO

藤倉 尚

ユニバーサル ミュージック合同会社
社長兼最高経営責任者

村松 俊亮

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長

吉村 隆

株式会社ポニーキャニオン
代表取締役社長

【理事】

吉田 眞市

日本コロムビア株式会社
取締役副会長

齊藤 正明

株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
代表取締役社長

村上 潔

キングレコード株式会社
代表取締役社長

高木 司（新任）

株式会社テイチクエンタテインメント
代表取締役社長

和田 康孝

日本クラウン株式会社
代表取締役社長
株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズ
代表取締役社長

小林 和之

株式会社ワーナーミュージック・ジャパン
代表取締役社長兼CEO

安岡 喜郎

株式会社ハップ
代表取締役 社長執行役員

後藤 豊

株式会社フォーライフ ミュージックエンタテインメント
代表取締役社長

荻野 伸之

株式会社ヤマハミュージックコミュニケーションズ
代表取締役社長

井上 俊次

株式会社バンダイナムコアーツ
代表取締役副社長

【専務理事】

原 康晴

一般社団法人日本レコード協会



このエルマークは、レコード会社・映像製作会社が提供するコンテンツを示す一般社団法人 日本レコード協会の登録商標です

【常務理事】

高杉 健二
一般社団法人日本レコード協会

【常務理事・事務局長】

畑 陽一郎
一般社団法人日本レコード協会

【監事】

楠木 紳市
株式会社ドリーミュージック
代表取締役社長

坂内 光夫
株式会社よしもとミュージック
代表取締役社長

石田 英遠
アンダーソン・毛利・友常法律事務所
弁護士

【顧問】

依田 巽
株式会社ドリーミュージック
取締役最高顧問

■退任

【理事】

中谷 幸夫
株式会社テイチクエンタテインメント
代表取締役会長

「日本のレコード産業」中国語版発行

当協会は、「日本のレコード産業2020」の中国語版である「日本的唱片产业2020」を発行いたしました。本誌は2019年のレコード産業の概要を網羅した小冊子で、日本語版同様、レコードの生産実績、音楽配信売上、新譜・カタログ数、ミリオン認定などの情報を幅広く掲載しています。

本誌のPDF版については以下URLをご覧ください。



▼RIAJ「日本的唱片产业2020」

<https://www.riaj.or.jp/f/pdf/issue/industry/RIAJ2020C.pdf>

会員社のお知らせ

■新入会（7月1日付）

社名：株式会社ジャニーズ・ミュージックカンパニー（賛助会員）
代表：代表取締役 藤島ジュリー景子
住所：〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-35

経済産業省・文化庁からのお知らせ

令和2年度「コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金(J-LODlive)」申請受付開始

5月27日、無観客公演等の収録映像を活用した動画の制作・海外配信を支援する補助金（令和2年度補正予算「コンテンツグローバル需要創出促進事業費補助金(J-LODlive補助金)」）の申請受付が開始された。

本事業は、今般の新型コロナウイルス感染症のまん延の影響を踏まえ、これにより公演を延期・中止した主催事業者に対して、今後実施する無観客公演(※)をはじめとするライブ公演の開催及びその収録映像を活用した動画の制作・海外配信の費用の一部を補助することを目的とするもの。

※「無観客公演」は、遠隔のスタジオをオンラインで同時接続するリアルタイム公演も含む。

概要は右のとおり。

- 対 象 分 野：コンテンツ全般（音楽、演劇等のほか、伝統芸能を含む芸能）
申 請 者：コンテンツのライブ公演の主催者となる法人
※新型コロナウイルス感染症のまん延の影響により2/1以降に予定していた公演を延期・中止した法人に限りです。
※非営利法人や地方公共団体も申請できます。
- 対 象 事 業：国内で今後公演を実施し、その収録映像を活用して制作した動画を海外に発信する事業
※新型コロナウイルス感染症に関する政府、都道府県等の方針、要請等に反しないことが必要です。

補助率(補助上限額)：1/2 (5,000万円/1件)

補 助 対 象 経 費：・公演の出演料、制作費、会場費、運営費、権利使用料、感染予防対策費
・公演の収録映像の一部又は全部を活用した動画の製作費・海外配信費 等

申請方法等詳細については以下特設サイトを参照。

▶「J-LODlive」特設サイト <https://j-lodlive.jp/>

▶本件問い合わせ先

特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO) J-LODlive補助金事務局



令和1年度事業報告

令和1年の市況を振り返ると、ストリーミング配信の伸長により音楽配信売上が706億円(前年比110%)と6年連続プラス成長となり、平成23年以来の700億円超えと好調に推移した。ストリーミング市場は前年比133%の465億円となり音楽配信市場におけるシェアは66%に拡大し、ダウンロード市場(225億円)の約2倍となった。他方、オーディオレコードの年間生産金額は前年比97%の1,528億円と健闘したものの、音楽ビデオが前年比92%の764億円と苦戦し、音楽パッケージソフト全体(オーディオレコードおよび音楽ビデオの合計)の年間生産金額は前年比95%の2,291億円となった。この結果、音楽パッケージソフトの生産金額と音楽配信売上の合計は前年比98%の2,998億円となり、依然として厳しい業界環境にあった。

このような環境下、当協会では、担う役割を3つ(①業界の収益を「伸ばす」、②違法を「なくす」、③レコード産業からのメッセージを「伝える」)に整理し、優先度を付けて以下の事業に取り組んだ。

事業活動

[1]レコードの普及に関すること

1.「音楽CDの再販制度」の維持と弾力運用の推進

- (1) 会員各社の再販弾力運用の取組みを報告書にとりまとめ、3月に公正取引委員会へ提出し、当協会ホームページで公表した。
- (2) ユーザーサービスのため毎年行っている廃盤セールについては、出品数の減少のため、今年度の開催は見送った。

2. 業界広報の強化・需要喚起関連施策

音楽ライフスタイルの啓発や正規音楽サービスの利用促進等に関する業界広報強化・需要喚起関連施策を総合的に検討する特別委員会を9月に発足させた。検討の結果、まずは正規の音楽利用を阻害している喫緊の課題に重点的に取り組むこととし、無許諾音楽アプリへの対策強化に関する以下の具体策を検討して実施した。

- (1) 海外メジャーレコード会社3社や国際レコード産業連盟(IFPI)、アメリカレコード協会(RIAA)などの協力を得て、アプリストア運営事業者に対策強化を求め、無許諾音楽アプリのストアからの削除期間を短縮した。
- (2) 広告収入を断つべく、広告主や広告配信事業者、業界団体などに申入れを行った。
- (3) 音楽関係団体の協力を得て、無許諾音楽アプリによる被害実態の調査および被害額算定を目的とする調査委員会を有識者により発足し、実態調査に着手した。

3. 新人アーティストの育成支援

新人アーティストの魅力を訴求することを目的とした

音楽ナタリーとの連携企画「Coming Next Artists」を8月まで実施した。平成29年7月より開始した本企画の累計掲載記事数は80件、総ページビュー(PV)数は700,177PVだった。

4.「日本ゴールドディスク大賞」の実施

第34回となる「日本ゴールドディスク大賞」各賞を2月27日に発表し、テレビ5局9番組のほか、新聞各紙、ウェブサイト等で多数取り上げられた。また、GYAOと連携し受賞アーティストによるコメント動画を配信した。

5. 日本音楽の海外展開の促進

会員各社の海外展開を支援する施策は、平成29年度から一般財団法人日本音楽産業・文化振興財団(JMCE)に一本化しており、今年度は下記施策の実施を支援した。

- (1) JMCE主催「第16回東京国際ミュージックマーケット(TIMM)」(10月28日~30日開催)への運営支援を行った。TIMMへの総来場者数は5,122名(マーケット参加2,982名、ライブ等参加2,140名)、来場した海外バイヤーは200名(26ヶ国・地域)を超え、国内音楽事業者および海外バイヤー等の商談会・ビジネスセミナー参加者数も昨年を上回った。また、10月28日「無許諾音楽アプリの現状と音楽業界の対策」をテーマに、LINE MUSICと共同でビジネスセミナーを行った。
- (2) JMCEが平成30年2月から運営する海外向けアニソンサイト「JAM LAB.(Japan Anime Music Lab.)」の3月31日時点でのPV数は104,497PV、サイトへの登録者数は480名となった。

6. RIAJセミナーの開催

会員社を対象に計4回(①4月12日「新入社員合同研修会」、②4月16日「消費税軽減税率制度等説明会」、③7月16日「労働関連法の改正動向と実務対応」、④12月2日「集中管理について/分配について」)開催した。

7. その他

- (1)「Music J-CIS (Music Japan-Copyright Information Service) 協議会」の構成団体として活動を行った。音楽権利情報データベースを充実させるため、今年度発売新譜等の楽曲情報取り込みを実施した。その結果、今年度末時点での収録楽曲総件数は約548万件まで拡大した(前期末約540万件)。
- (2)平成29年度から取り組んだ文化庁委託事業「コンテンツの権利情報集約化等に向けた実証事業」は、3年間の集大成として、11月27日から1月末日までの約2か月間、「音楽権利情報検索ナビ」の一括検索サイトを公開した。当協会は、本事業の実施主体として設置された権利情報集約化等協議会に構成団体として参加し、権利情報集約化のニーズと課題を検証した。今年度で実証事業は終了したが、今後は、その成果を継承し情報集約の取り組みを継続するための音楽関係団体の組織化を進める。

[2] レコード等に関する調査研究 およびデータの収集

1. 市場調査、産業統計の充実

音楽パッケージソフトの月別生産実績ならびに四半期毎の音楽配信売上実績を集計し公表した。

2. 音楽に関する消費者実態調査の実施

「2019年度音楽メディアユーザー実態調査」を実施し、ユーザーの音楽利用実態の推移や音楽消費の変化に関する定点観測のほか、特定テーマとして「サブスク利用の深堀調査」「無許諾アプリ利用実態調査」および「消費者データ分析」を加えて行い、報告書に取りまとめた。会員社向けの報告会は、新型コロナウイルス感染防止のため開催を見送り、書面報告とした。

[3] レコードを通じた音楽文化の 保存に関すること

1. 「文化庁芸術祭」への協力

「第74回文化庁芸術祭」のレコード部門申請窓口として43作品を参加申請し、参加が承認された33作品の中から芸術祭大賞1作品、優秀賞3作品が選出された。

2. 「日本プロ音楽録音賞」の共催

優秀な音楽録音作品を選定し、その録音エンジニアを

顕彰する「第26回日本プロ音楽録音賞」を、当協会と日本音楽スタジオ協会、日本レコーディングエンジニア協会、日本オーディオ協会および演奏家権利処理合同機構MPNにより共催し、12月6日にTOKYO FMホールにおいて授賞式を開催した。

[4] 著作権および著作隣接権等の 普及・啓発に関すること

1. 違法音楽配信を撲滅するための対策の強化

- (1) 違法配信対策の専任組織「著作権保護・促進センター(CPPC)」において継続実施している動画共有サイト、ストレージサービス等に対する違法アップロードファイルの削除要請件数は、前年度の2倍を超える約111万3千件となった(前年度約53万件)。
- (2) 海外サイトへの削除要請については、IFPIとの協働により、無許諾音楽アプリにリンクする違法ファイル蔵置先であるストレージサービスやCDN(Content Delivery Network)への対策を継続実施した。
- (3) スマートフォン向けアプリストア運営事業者に対する無許諾音楽アプリの削除要請を実施(App Store: 27件、Google Play: 29件、合計56件)し、年度末時点でApp StoreおよびGoogle Playストアには削除対象となる音楽アプリは皆無となった。
- (4) 音楽関係4団体および配信事業者4社連名でアプリストア運営事業者に対して無許諾音楽アプリへの対策強化を要望する文書を送付し、アプリストア側と協議を開始したことにより、懸案となっていた削除申請からアプリ削除までの期間が大幅に短縮された。さらに、弁護士会照会制度を利用してアプリストアへ無許諾アプリ開発者の情報開示を要請した。
- (5) 音楽ファイルの違法アップローダーや海賊版の頒布者に対する告訴件数は15件であった(前年度実績33件)。
- (6) P2Pファイル共有ソフトの悪質利用者について、プロバイダに対し発信者情報開示請求および非開示利用者の氏名等の開示請求訴訟の提起を行い、昨年度非開示の回答があった4名については、6月と10月に開示を命ずる判決を得た。また、新たにBitTorrentネットワークによる悪質利用者44IPに係る発信者情報開示請求を行い、36IPについては訴訟によらず情報が開示された。なお、非開示の回答があったIPについては今後ISPに対して開示請求訴訟を提起予定である。

2. 著作権教育活動の実施

- (1) 大学寄附講座の開設

レコード産業・著作権制度への若年層の理解を深めることを目的とした大学寄附講座「情報化社会におけるクリエイティブビジネスと著作権」(全15コマ)を、今回で3年目となる国立大学法人電気通信大学

で開講し、各回平均約350名が履修した。

- (2)主に中高生を対象に行っている職場訪問・出張授業対応実績は、54校827名となった。
- (3)音楽が制作される過程を学び、さらに上質な環境で音楽を体感する機会の提供を目的として、中高生を対象としたレコーディングスタジオ体験学習プログラムに、16校153名の学生が参加した。
- (4)キャリア教育支援事業「おしごとくはくぶん」に協賛し、記事「著作権ってなあに？」が掲載された「おしごと年鑑」は、全国の小中学校、教育委員会を中心に6万7千部が寄贈され、5千部が一般市販された。
- (5)文化庁主催著作権セミナー等において、当協会の啓発リーフレット・チラシ・ノベルティ約2千部を配布した。

3. クリエイターへの適切な対価還元制度の整備を求める活動

関係省庁間協議の進捗を待って著作権分科会の審議が行われる予定だったが、令和2年度に持ち越しとなった。

4. レコードの業務上の演奏利用から適正な対価が還元される法制度創設に向けた活動

「知的財産推進計画2020」の策定に関する意見書において、「レコード演奏・伝達権(仮称)」の権利創設の要望を行うとともに、IFPIや実演家団体と連携しながら、行政庁への働きかけを行った。

5. 「バリューギャップ」問題の解決に向けた活動

大量の無料投稿動画を公開して大きなビジネスを行う動画サイト運営事業者に係る法的ルールの見直しなど、いわゆる「バリューギャップ」問題の解決を図るため、「知的財産推進計画2020」の策定に関する意見書において検討の開始を要望した。

6. 放送の同時送信に関する集中管理事業の推進

文化庁著作権分科会傘下の小委員会で放送番組同時配信等に係る権利処理円滑化の検討が開始された。令和2年度に行われる具体的検討に向けて基本的な考え方の取りまとめが成され、既存のライセンス市場に影響を及ぼさない方向で必要な法制度を検討することとなった。

7. 一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会(SARTRAS)への参加

授業目的公衆送信補償金の指定管理団体に参加し、新補償金制度の仕組み作り、補償金規程案の策定、運営支援等を行った。なお、当該補償金制度は、コロナウィルス感染症蔓延によるICT教育の早期実施の

必要性から令和2年4月28日に施行される運びとなった。

[5]レコード等に関するデータの公表

1. 出版物の刊行

月刊機関誌「THE RECORD」を発行し、会員社、関係団体、官公庁、マスメディア、業界関係者などに配布した。また、毎年発行している年間統計資料集「日本のレコード産業2020」は、デジタル配信の統計ページを中心に構成デザインを見直して日本語版・英語版・中国語版を制作した。発行および当協会ホームページ上での公開は令和2年4月以降の予定。

2. ホームページの運営

当協会の活動とレコード産業に関する様々な情報を幅広く提供した。

[6]レコード製作者に係る商業用レコードの二次使用料に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配

1. 放送二次使用料収入の安定的確保

- (1)今年度以降の二次使用料について、一般社団法人日本民間放送連盟に加盟する地上放送事業者に関して4年契約の合意が調ったほか、一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟との間で8年契約、株式会社WOWOWとの間で5年契約の締結に至った。
- (2)二次使用料・複製使用料等の徴収額の合計は82億8,600万円(前年比5.4%増)、権利者分配額は77億9,200万円(前年比5.6%増)となった。

[7]レコードに関するレコード製作者の複製権、譲渡権および送信可能化権等ならびに実演家の送信可能化権等に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収および分配

1. ネット配信にかかる集中管理に関する取組み

- (1)ネット独自番組の放送型配信(ウェブキャストイング)について、早期の集中管理開始に向けて関係諸団体との調整等必要な準備を継続した。
- (2)テレビ番組のネット配信について、令和2年4月1日以降、集中管理の範囲を番組部分配信や派生映像に拡張するため管理委託契約約款を改定し、文化庁に変更届出を行った。
- (3)国内番組配信に係る使用料規程について、包括契約によらない場合の規定を整備したほか、衛星テレビ番組の配信権付き海外番組販売に対応する規定を新設した。いずれの規定も令和2年4月26日に実施の予定である。

2. 教育・文化・ブライダル分野の

レコード利用集中管理事業の推進

- (1) ブライダルに係るレコードの複製利用について、今年度の使用回数は333,051回(前年比195%)、徴収額は3億9,830万円(前年比130%)となった。
- (2) NHK放送コンテスト・バントワーリング大会に係るレコードの複製利用について、今年度の許諾件数は983曲(前年比104%)、徴収額は1,480万円(前年比171%)となった。
- (注: 上記金額は、いずれも前項〔6〕(2)記載の合計徴収額の内数である)

〔8〕レコード製作者に係る商業用レコードの 公衆への貸与に係る報酬等に関する 権利行使の受任、金額の取り決めならびに 徴収および分配

徴収額は9億500万円(前年度比18.4%減)、権利者分配額は7億9,500万円(前年度比18.5%減)となった。

〔9〕私的録音補償金に関する指定管理団体の 構成員としての業務ならびにレコード製作者に 係る当該補償金の受領および分配

私的録音補償金管理協会(sarah)から660万円(前年度比22.0%減)を受領し、540万円(前年度比20.6%減)を権利者に分配した。

〔10〕その他

1. 政府の審議会等への委員派遣および経済団体への 参画等

文化審議会著作権分科会等へ委員を派遣するなど、外部の会議体等に積極的に参画し、意見の表明を行った。

2. 国内・国外の団体、機関との連携活動

国内の音楽関係団体、ならびにIFPIおよびRIAA等海外のレコード産業団体との連携と情報交換を実施した。

3. 「レコード倫理審査会」の開催・運営

会員社から発売された全邦楽作品9,332点について審査を行った。

4. 業界規格(RIS)の制定と改正

日本レコード協会規格(RIS)のうち、アナログレコード(RIS202)、オーディオCD(RIS204)、オーディオカセットテープ(RIS306)、DVDビデオ(RIS403)ならびにブルーレイディスク™の表示に関する運用基準を改訂し発行した。またレコード商品マスタ用オンラインデータ交換フォーマット(RIS504)別冊「各種コード一覧表」(2019年10月版)を発行した。

5. ISRC(International Standard Recording Code)の登録代行機関としての活動

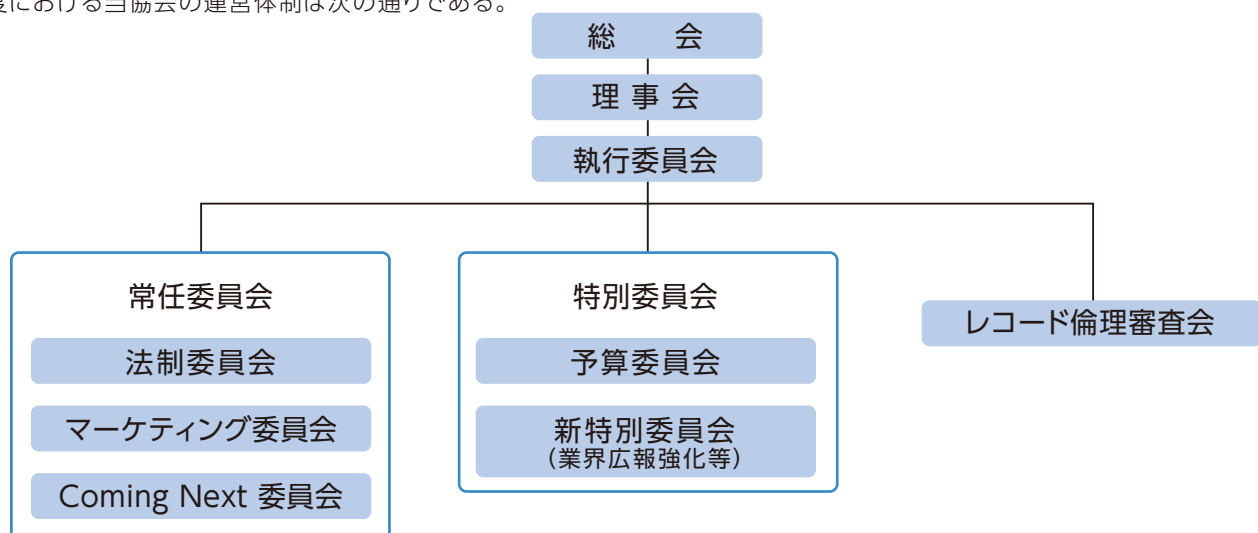
今年度は、登録者コードの新規発行件数が31件(前年度46件)、個別コードの発行曲数が15,011曲(前年度16,021曲)となり、その結果、令和2年3月末時点の累計は登録者コード発行件数が1,886件、個別コード発行曲数が243,524曲となった。

6. 福祉・厚生施設へのレコード寄贈

今年度(第57回)は、5,370枚の音楽CDを全国身体障害者施設協議会会員施設237箇所、北海道胆振東部地震臨時災害放送局等2箇所へ寄贈した。

運営体制

今年度における当協会の運営体制は次の通りである。



「知的財産推進計画2020」が決定

5月27日、首相官邸で知的財産戦略本部会合が開催され、「知的財産推進計画2020」が決定した。

今年度は、基本的な方針を示す「『ニュー・ノーマル(新たな日常)』と知財戦略」(総論的部分)と、各分野において講ずべき施策を示す「イノベーションエコシステムにおける戦略的な知財活用」の推進、「クールジャパン戦略の実行」及び「コンテンツ・クリエーション・エコシステムの構築」に、重点施策が整理されている。

具体的な重点施策のうち、レコード業界に特に関連性の高い事項は以下の通りである。

コンテンツ・クリエーション・エコシステムの構築

【デジタル時代のコンテンツ戦略】

・デジタル時代におけるコンテンツの流通・活用の促進に向けて、新たなビジネスの創出や著作物に関する権利処理及び利益分配の在り方、市場に流通していないコンテンツへのアクセスの容易化等をはじめ、実態に応じた著作権制度を含めた関連政策の在り方について、関係者の意見や適切な権利者の利益保護の観点にも十分に留意しつつ検討を行い、2020年内に、知的財産戦略本部の下に設置された検討体を中心に、具体的な課題と検討の方向性を整理する。その後、関係府省において速やかに検討を行い、必要な措置を講ずる。

・同時配信等に係る著作隣接権の取扱いなど制度改正を含めた権利処理の円滑化について、関係者の意向を十分に踏まえつつ、運用面の改善を着実に進めるとともに、制度の在り方について、具体的な検討を行い、一定の結論を得て、本年度内の法案の国会提出を含め、必要な見直しを順次行う。

・クリエイターに適切に対価が還元され、コンテンツの再生産につながるよう、デジタル時代における新たな対価還元策やクリエイターの支援・育成策等について検討を進めるとともに、私的録音録画補償金制度については、新たな対価還元策が実現されるまでの過渡的な措置として、私的録音録画の実態等に応じた具体的な対象機器等の特定について、関係府省の合意を前提に文部科学省を中心に検討を進め、2020年内に結論を得て、2020年度内の可能な限り早期に必要な措置を講ずる。

・音楽分野におけるインディーズ等を含む権利情報を集約化したデータベースの整備及び当該データベースを活用した一括検索サイトの開設等のための実証事業の成果を踏まえ、著作権等管理事業者が権利を預けていない個人クリエイター等の権利情報集約化に関する調査研究を実施し、コンテンツの利活用を促進するための権利処理プラットフォームの更なる充実を図るための検討を行う。

【模倣品・海賊版対策の強化】

・インターネット上の海賊版による被害拡大を防ぐため、インターネット上の海賊版に対する総合的な対策メニュー及び工程表に基づき、関係府省が連携しながら、必要な取組を進める。その際、各取組の進捗・検討状況に応じて総合的な対策メニュー及び工程表を更新し、被害状況や対策の効果を検証しつつ行う。

・インターネット上の海賊版の提供者を特定しやすくし、民事上の責任追及に資するよう、プロバイダ責任制限法における発信者情報開示の対象となる発信者情報の見直しについて検討を行うことに加え、発信者情報の円滑な開示のための情報開示・裁判手続の方策について、国外サーバ等が用いられている場合の訴状の送達等の現状を踏まえ、必要な検討を行う。

▶「知的財産推進計画2020」の本文及び関連情報は右記URLを参照。 <https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2>

Data File

2020年第1四半期 音楽配信売上実績

2020年第1四半期は、数量で前年同月比82%の2,539万2,000ダウンロード、金額で前年同月比112%の187億5,600万円となった。

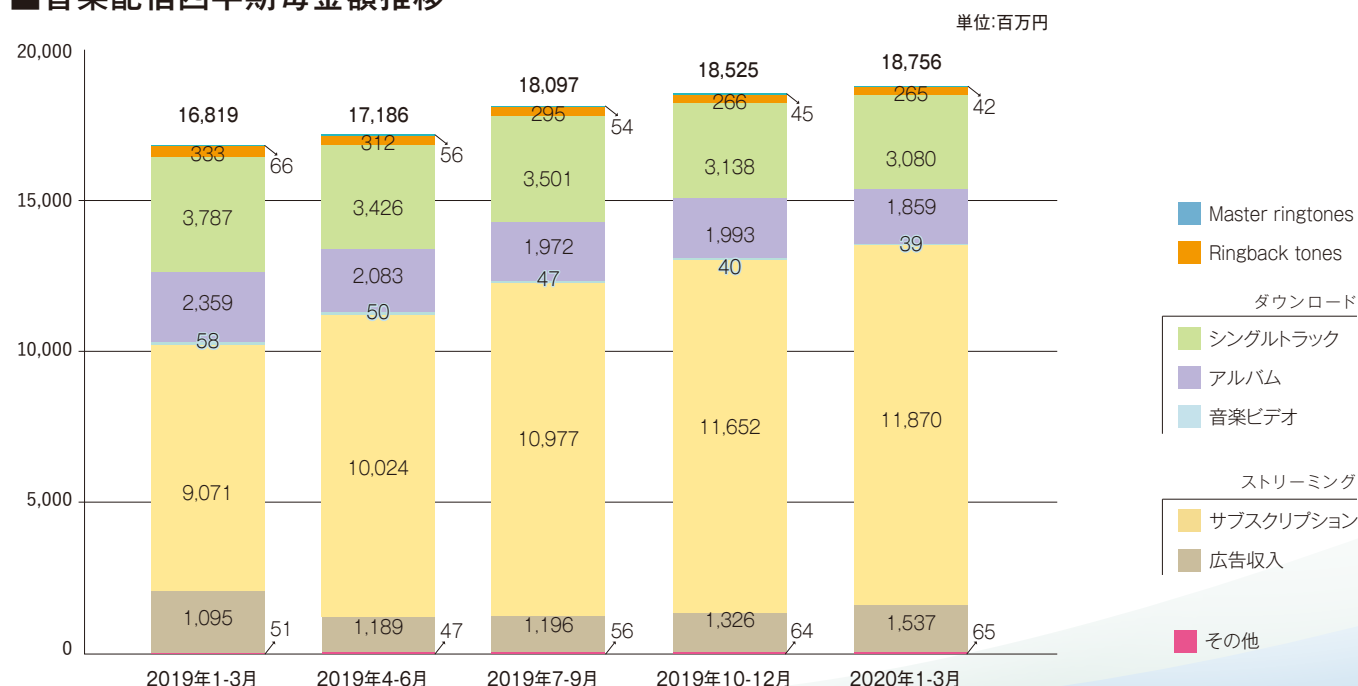
(単位)数量:千回,金額:百万円

		形態	2020年1月～2020年3月 累計			
			数 量	前年同期比	金 額	前年同期比
Master ringtones			392	63%	42	65%
Ringback tones			3,919	79%	265	80%
ダウンロード	シングルトラック	PC・スマートフォン	19,243	83%	3,065	82%
		フィーチャーフォン	69	61%	15	55%
		小計	19,312	83%	3,080	81%
	アルバム	PC・スマートフォン	1,641	78%	1,859	79%
		フィーチャーフォン	0	33%	0	67%
		小計	1,641	78%	1,859	79%
	音楽ビデオ	PC・スマートフォン	126	66%	38	68%
		フィーチャーフォン	2	44%	1	43%
		小計	127	66%	39	67%
	ダウンロード計		21,080	82%	4,978	80%
ストリーミング	サブスクリプション/音楽				11,447	130%
	サブスクリプション/音楽ビデオ				422	173%
	広告収入/音楽				566	264%
	広告収入/音楽ビデオ				971	110%
	ストリーミング計				13,407	132%
その他					65	126%
合計			25,392	82%	18,756	112%

注: 数量…ダウンロード回数

備考 1. 本統計は、会員会社の実績をとりまとめたもの。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

■音楽配信四半期毎金額推移



Monthly Production Report 2020年5月度レコード生産実績



5月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)の生産実績は、数量で前年同月比35%の456万枚・巻、金額で同37%の55億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比36%の374万枚・巻、金額で同37%の41億円。音楽ビデオが、数量で前年同月比31%の81万枚・巻、金額で同37%の14億円となっている。

オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		5月実績						2020年1月~2020年5月 累計					
		数量	構成比	前年 同月比	金額	構成比	前年 同月比	数量	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比
8cmCD シングル	邦	0	0	10%	0	0	14%	8	0	85%	6	0	108%
	洋	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	計	0	0	10%	0	0	14%	8	0	85%	6	0	108%
12cmCD シングル	邦	795	21	26%	692	17	29%	12,932	31	76%	10,970	23	78%
	洋	5	0	2%	5	0	1%	663	2	116%	540	1	109%
	計	800	21	24%	697	17	25%	13,595	33	77%	11,510	25	79%
シングル 計	邦	795	21	26%	693	17	29%	12,940	31	76%	10,976	24	78%
	洋	5	0	2%	5	0	1%	663	2	116%	540	1	109%
	計	800	21	24%	698	17	25%	13,603	33	77%	11,516	25	79%
12cmCD アルバム	邦	2,238	60	38%	2,782	68	40%	23,943	57	87%	30,752	66	82%
	洋	645	17	62%	525	13	49%	3,620	9	64%	3,568	8	62%
	計	2,883	77	42%	3,307	81	41%	27,563	66	83%	34,319	73	79%
CD計	邦	3,033	81	34%	3,475	85	37%	36,882	89	83%	41,728	89	81%
	洋	650	17	48%	530	13	38%	4,283	10	69%	4,108	9	66%
	計	3,683	98	36%	4,004	98	37%	41,165	99	81%	45,836	98	79%
アナログ ディスク	邦	12	0	22%	26	1	23%	143	0	55%	338	1	70%
	洋	17	0	46%	29	1	47%	118	0	54%	200	0	49%
	計	28	1	32%	55	1	32%	261	1	55%	538	1	60%
カセット テープ	邦	14	0	56%	14	0	63%	95	0	55%	87	0	59%
	洋	0	0	15%	0	0	13%	1	0	14%	1	0	10%
	計	14	0	54%	15	0	57%	96	0	54%	88	0	56%
その他	邦	2	0	13%	5	0	16%	28	0	44%	53	0	45%
	洋	14	0	113%	27	1	113%	106	0	114%	190	0	112%
	計	16	0	57%	32	1	61%	134	0	86%	243	1	84%
合 計	邦	3,061	82	34%	3,519	86	37%	37,147	89	82%	42,207	90	81%
	洋	681	18	48%	586	14	39%	4,508	11	69%	4,499	10	66%
	計	3,741	100	36%	4,106	100	37%	41,655	100	81%	46,705	100	79%

音楽ビデオ

		5月実績						2020年1月~2020年5月 累計					
		数量	構成比	前年 同月比	金額	構成比	前年 同月比	数量	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比
DVD	邦	496	61	36%	643	45	40%	9,072	63	85%	11,524	46	87%
	洋	32	4	151%	50	3	176%	163	1	43%	235	1	33%
	計	528	65	37%	693	48	43%	9,234	64	84%	11,759	47	85%
ブルーレイ ディスク	邦	280	34	23%	734	51	33%	4,903	34	82%	13,223	52	90%
	洋	7	1	83%	15	1	59%	219	2	172%	218	1	44%
	計	286	35	24%	750	52	33%	5,122	36	84%	13,441	53	89%
テープ・その他	邦	0	0	—	0	0	—	0	0	—	0	0	—
	洋	776	95	30%	1,377	95	36%	13,974	97	84%	24,747	98	89%
	計	38	5	133%	65	5	119%	382	3	75%	453	2	38%
合 計	邦	776	95	30%	1,377	95	36%	13,974	97	84%	24,747	98	89%
	洋	38	5	133%	65	5	119%	382	3	75%	453	2	38%
	計	814	100	31%	1,442	100	37%	14,356	100	84%	25,200	100	87%

音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

		5月実績						2020年1月~2020年5月 累計					
		数量	構成比	前年 同月比	金額	構成比	前年 同月比	数量	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比
オーディオレコード計		3,741	82	36%	4,106	74	37%	41,655	74	81%	46,705	65	79%
音楽ビデオ計		814	18	31%	1,442	26	37%	14,356	26	84%	25,200	35	87%
合 計	邦	3,836	84	33%	4,896	88	37%	51,122	91	83%	66,954	93	83%
	洋	719	16	50%	651	12	42%	4,890	9	69%	4,952	7	61%
	計	4,555	100	35%	5,548	100	37%	56,011	100	81%	71,905	100	81%

ビデオレコード(含音楽ビデオ)

		5月実績						2020年1月~2020年5月 累計					
		数量	構成比	前年 同月比	金額	構成比	前年 同月比	数量	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比
DVD		1,755	64	52%	2,435	42	65%	17,209	65	73%	23,846	46	86%
ブルーレイディスク		989	36	50%	3,353	58	68%	9,113	35	76%	27,476	54	87%
テープ・その他		0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
合 計		2,743	100	51%	5,788	100	66%	26,322	100	74%	51,322	100	87%

オーディオ/ビデオレコード合計

		5月実績						2020年1月~2020年5月 累計					
		数量	構成比	前年 同月比	金額	構成比	前年 同月比	数量	構成比	前年 同期比	金額	構成比	前年 同期比
オーディオレコード計		3,741	58	36%	4,106	41	37%	41,655	61	81%	46,705	48	79%
ビデオレコード計		2,743	42	51%	5,788	59	66%	26,322	39	74%	51,322	52	87%
合 計		6,484	100	41%	9,893	100	50%	67,978	100	78%	98,027	100	83%

備 考 1. 本統計は、当協会会員社の集計である。会員社が受託した非会員社からの販売受託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
3. オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

ダウンロード認定

シングルトラック | 邦楽

トリプル・プラチナ	マリーゴールド	あいみょん	2018.07.18	ワーナーミュージック・ジャパン
	白日	King Gnu	2019.02.22	ソニー・ミュージックレーベルズ
プラチナ	誰かの願いが叶うころ	宇多田 ヒカル	2004.11.19	ユニバーサル ミュージック
	恋愛サーキュレーション	化物語	2010.01.27	アニプレックス
ゴールド	散歩道	JUDY AND MARY	2003.12.24	ソニー・ミュージックレーベルズ
	フレア	Superfly	2019.11.01	ワーナーミュージック・ジャパン
	会いたいよ	手塚 翔太	2019.07.07	ソニー・ミュージックレーベルズ

※日付は配信開始日

ストリーミング認定

トラック | 邦楽

プラチナ	君はロックを聴かない	あいみょん	2017.07.02	ワーナーミュージック・ジャパン
	I LOVE...	Official髭男dism	2020.01.15	ポニーキャニオン
	紅蓮華	LiSA	2019.10.21	ソニー・ミュージックレーベルズ
ゴールド	傘	King Gnu	2019.10.11	ソニー・ミュージックレーベルズ
	新宝島	サカナクション	2015.09.30	JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント
	クリスマスソング	back number	2018.11.29	ユニバーサル ミュージック
	Wanted! Wanted!	Mrs. GREEN APPLE	2017.08.29	ユニバーサル ミュージック
	ただ君に晴れ	ヨルシカ	2018.05.09	ユニバーサル ミュージック
	ピンテージ	Official髭男dism	2019.10.09	ポニーキャニオン
シルバー	Vinyl	King Gnu	2017.09.27	ソニー・ミュージックレーベルズ
	明日も	SHISHAMO	2017.02.22	ユニバーサル ミュージック
	好きな人がいること	JY	2016.08.15	ソニー・ミュージックレーベルズ
	Feel Special	TWICE	2019.09.23	ワーナーミュージック・ジャパン
	Walking with you	Novelbright	2018.10.03	Emperor Mode
	FAKE LOVE	BTS	2018.05.18	ユニバーサル ミュージック
	夜に駆ける	YOASOBI	2019.12.15	ソニー・ミュージックエンタテインメント

トラック | 洋楽

シルバー	Call Me Maybe	Carly Rae Jepsen	2015.07.01	ユニバーサル ミュージック
	Just the Way You Are	Bruno Mars	2013.03.04	ワーナーミュージック・ジャパン

※日付は配信開始日

認定基準

ゴールドディスク認定(音楽ソフト/カテゴリ: アルバム、シングル、音楽ビデオ)
ダウンロード認定(ダウンロード/カテゴリ: 着うた®, シングルトラック、アルバム)

認定ランク	ゴールド	プラチナ	ダブル・プラチナ	トリプル・プラチナ	ミリオン	2ミリオン
基準	10万以上	25万以上	50万以上	75万以上	100万以上	200万以上

【基準単位】ゴールドディスク認定: 枚数、ダウンロード認定: ダウンロード数

備考 1. 着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰
2. 「着うた®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です
3. 3ミリオン以降、100万毎に認定

ストリーミング認定(ストリーミング/カテゴリ: トラック)

認定ランク	シルバー	ゴールド	プラチナ	ダイヤモンド
基準	3千万以上	5千万以上	1億以上	5億以上

【基準単位】ストリーム数

備考 1. 数量は、GfK Japan(ジーエフケー・インサイト・ジャパン株式会社)の提供データを元に当協会にて累計ストリーム数を算出したもの
2. 集計対象音楽ストリーミングサービス: Amazon Music Unlimited、Apple Music、AWA、dミュージック、Google Play Music、HMVmusic powered by KKBOX、KKBOX、LINE MUSIC、Rakuten Music、RecMusic、Spotify

協会からのお知らせ

令和2年度(第75回)文化庁芸術祭参加作品の募集について

文化庁では、令和2年度(第75回)文化庁芸術祭の参加作品を募集しています。対象は「演劇」「音楽」「舞踊」「大衆芸能」の公演および「テレビ」「ラジオ」「レコード」の作品です。



応募公演・作品は、各部門で審査を行い、優れた成果をあげた公演・作品には文部科学大臣より賞が贈呈されます。

詳細は以下URLをご参照の上、奮ってご応募ください。

▼文化庁芸術祭ホームページ

<https://www.bunka.go.jp/seisaku/geijutsubunka/jutenshien/geijutsusai/r02/index.html>

編集後記

緊急事態宣言の解除からひと月以上が経ち、音楽・エンタメシーンにおいても、ウィズコロナの状況に適応した新たな形式での発表の場が徐々に増えてきました。段階的ではありますが、楽しみが存在する世の中はやはり心地よいものです。

さて、長らく月刊誌として発行しておりました当協会機関誌『The Record』ですが、今回の7・8月合併号より刊行ペースを隔月とさせていただくこととなりました。次号は9・10月合併号として9月半ばに発行予定です。今後も誌面の充実と業界広報に努めてまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。(M)

THE RECORD No.728 2020年7・8月合併号

一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 重村 博文

編集人 原 康晴

発行日 2020年7月15日

発行 一般社団法人 日本レコード協会

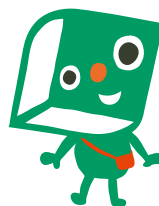
〒105-0001

東京都港区虎ノ門2-2-5 共同通信会館9階

TEL.03-5575-1301(代) FAX.03-5575-1313

URL:<https://www.riaj.or.jp/>

編集協力 株式会社金羊社 / 合同会社ヤマモトカウンスル



エルマークキャラクター

エルマーくん

■当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら

当協会公式サイト(URL:<https://www.riaj.or.jp/>) のお問い合わせページよりお寄せください。